

次テ自分カ總領事官邸ニ赴キ陳謝ノ上今回ノ事件ノ責任者タル葉蓬ヲ罷免スヘキヲ言明シ且ツ將來ノ保障ヲ爲スコトト致スヘシト述ヘタルニ付本官之ニ承諾ヲ與ヘ辭去セリ

往電第二八一號ト共ニ陸海軍ヘ御傳ヘアリタシ
前電通り轉電轉報セリ

5 上海における日本人水兵射殺事件

202 昭和10年11月10日 在上海石射總領事より
広田外務大臣宛(電報)

上海共同租界越界路において日本人水兵射殺事件発生について

上海 11月10日前発
本省 11月10日前着

第三六三號(至急)

昨九日午後九時頃當地陸戰隊一等水兵中山秀雄外出先ヨリノ歸途北四川路附近ノ越界路陶賴照路左側通行中何者カニ拳銃ヲ以テ狙撃セラレ後頭部ニ貫通銃創ヲ負ヒ人事不省ニ陥リタリ(道路ノ反對側ニ藥莢一箇發見セラレタリ)陸戰隊ニ於テハ通行人ノ通報ニ依リ直ニ工部局警察狄思威路分署並ニ公安局北站分局ニ通知犯人ノ捜査ヲ求メ事件發生ノ場所附近ハ工部局並ニ公安局警官及陸戰隊一箇中隊ヲ以テ非常警備中ナルカ被害者ハ人事不省ノ儘今曉一時十分死亡セシルヲ以テ的確ナル事情判明セサルモ犯人ノ何人トヲ問ハス陸戰隊司令官ハ當時ノ状況上制服着用中ノ我水兵ヲ狙撃セ

ルハ軍ニ對スル挑戰行爲ト認メ工部局並ニ支那側警備當局ニ至急犯人ノ徹底的捜査方ヲ申入レ若シ其ノ措置不満足ナ

ルニ於テハ陸戰隊自ラ適當ト認ムル手段ヲ執ル決意ナリ(以上ノ趣旨海軍側ヨリ新聞ニ發表セリ)

在支各公館、滿、奉天、哈爾賓、香港、馬尼刺、新嘉坡、臺灣外事課長ヘ轉電シ支ヘ轉報セリ

北平ヨリ張家口ヘ、漢口ヨリ長沙、沙市、^(重慶)昌、重慶、鄭州ヘ轉電アリタシ

203 昭和10年11月10日 在上海石射總領事より
広田外務大臣宛(電報)

日本人水兵射殺事件に関し犯人の徹底的捜査方を我が方陸戰隊司令部より上海市政府へ申入れについて

上海 発
本省 11月10日前着

第三六四號

往電第三六三號ニ關シ

支那側ニ對スル正式申込ヲ要スル場合ニハ本官ニ於テ吳市

長ニ對シ爲ス筈ナルモ急ヲ要スル次第ナレハ昨夜不取敢陸
戰隊安田參謀ヨリ市政府。秘書長ニ右往電末段ノ趣旨ヲ申
入レタリ爲念

北平、南京、天津ヲ轉電シ支ヘ轉報セリ

204 昭和10年11月10日 在上海石射總領事より
広田外務大臣宛(電報)

日本人水兵射殺事件の犯人捜査を市政府側が

開始について

上海 發
本省 11月10日後着

第三六五號(至急)

往電第三六四號ニ關シ

安田會見ノ結果、吳市長モ事件發生ヲ深く憂慮シ關係
機關ヲ督勵シ工部局ト協力犯人捜査ノ爲總ユル手段ヲ盡ス
覺悟ニテ既ニ行動ヲ開始セル旨ヲ述ヘ事件發生ノ地點カ工
部局管轄區域内ナルカ如キコトハ問題トセサル態度ナリシ
ヲ以テ陸戰隊ニ於テハ差當リ工部局及支那側ノ犯人捜査措
置ヲ監視スルコトトシ當館警察、憲兵隊等ト聯絡シ犯人ノ

二 日中諸案件交渉

サルモ場所カ支那街ニ隣接シ居ルヲ以テ犯人ハ兇行後直ニ
支那街ニ逃亡セルヤモ知レス又目下ノ情勢ヨリ見テ犯人ハ
支那人ニアラスヤトノ嫌疑最モ濃厚ナリト思料セラルルニ
付(往電第三五八號)北ニ於ケル日支開戰ノ謠言並ニ汪院
長ノ暗殺カ日本人ノ仕業ナリト路透社ノ誤電等ヲ信シ居ル者
無智ノ支那人中ニハ尙相當アルヘキコト等ヲ指摘シ置ケ
リ)支那側ニ於テモ事件ノ真相ヲ明カニスル爲誠意ヲ以テ
犯人ノ檢舉ニ當ルト共ニ今後再ヒ斯ル事件ノ發生ヲ見サル
様充分豫防措置ヲ講セラレ度キ旨申入レタル處市長ハ本件
發生ハ甚タ遺憾ナリトテ甲意ヲ表シタル後市政府トシテハ
犯人カ支那人ナルヤ否ヤノ問題ハ暫ク措キ本件カ上海全体
ノ治安ニ重大ナル惡影響ヲ及ホシ又日支間感情ノ齟齬ヲ來
ス原因トナルヘキ懸念アルニ鑑ミ(本件ノ爲前記開北開戰
說再燃シ附近住民ノ租界内ニ避難スルモノ少カラス市政
ハ極力謠言打消ニ努メ居ル旨述ヘタリ)誠意日本側及工部
局ト協力シ至急犯人ヲ檢舉シ事件ノ真相ヲ明カニスル決心
ニシテ目下折角努力中ナルカ將來ノ豫防ニ付テモ勿論十二
分ノ手配ヲ爲スヘシ云々ト述ヘタリ

支ヘ轉報シ北平、南京、天津ヘ轉電セリ

探査ヲ進ムル外表面何等ノ措置ヲ執ラス暫ク事態ノ推移ヲ
見極ムルコトトナリ昨夜來附近一帶ニ配備セラレタル陸戰
隊武裝員モ警戒ヲ緩メ附近狀況ハ大體平常ニ復セリ

尙今朝ノ邦字新聞ハ事件ヲ頗ル重大視シ大々的ニ取扱ヒ居
ル處當館、陸戰隊協議ノ上今後ハ當局發表以外ノ本件報道
ヲ一切新聞ニ掲載セシメサルコトトセルカ英、漢字紙ハ比
較的簡單ニ事件ヲ報道シ居レリ

冒頭往電ノ通り轉電、轉報セリ

205 昭和10年11月11日 在上海石射總領事より
広田外務大臣宛(電報)

日本人水兵射殺事件の犯人檢舉に尽力あるよ

う吳鉄城上海市長に申入れについて

上海 發
本省 11月11日後着

第三六七號

往電第三六五號ニ關シ

本官陸戰隊側ト協議ノ上本十一日吳市長ヲ往訪シ本件ハ越
界路上ニ起リタル事件ニシテ犯人ハ未タ何者ナルヤ判明セ

206 昭和10年11月12日 在上海石射總領事より
広田外務大臣宛(電報)

上海共同租界内において中国人暴徒による邦
人経営商店への襲撃事件発生について

上海 發
本省 11月12日前着

第三六九號(至急)

本十一日午後七時頃南京路日比野洋行(陶磁器商)ヲ十五、
六名ノ支那人襲撃シ石塊、煉瓦、「サイダー」空壘等ヲ
「シヨウウインド」ニ投付ケ之ヲ破壊シ日本帝國主義打倒、
賣國奴、奸漢打倒、蘇聯邦ト聯携シ共產黨ヲ容認セヨ、對
日宣戰ヲ爲シ中國ヲ救ヘ等ノ文句ヲ連ネ上海抗日救國會ト
署名セル排日傳單ヲ撒布シタル後喊聲ヲ擧ケテ引揚ケタル
事件アリ同店ヨリノ急報ニ接シ直ニ當館警察官ヲ現場ニ派
遣シタル處被害程度ハ「シヨウウインド」窓硝子及陳列中
ノ陶磁器類若干破損(見積合計約百五十弗)ニシテ店員ニハ
別ニ負傷者無カリシカ證據品タル石塊等ハ現場臨檢ニ立會
ヘル工部局警察側ニ引渡シ置キタリ現場附近ニアリタル工
部局巡査カ一名ノ犯人ヲモ逮捕セサリシハ甚タ不都合ニシ

テ當館ニテハ不取敢工部局警察ニ對シ至急犯人逮捕方嚴重
申入レ置キタリ不取敢
支ヘ轉報シ在支各總領事、香港、厦門ヘ轉電セリ

207 昭和10年11月12日 在上海石射總領事より
広田外務大臣宛(電報)

上海での日本人に対する不祥事件続発に対し
一切の排日的行為を絶対に慎むよう市民に厳
重諭告方市政府へ申入れについて

上海 本省 11月12日後着

第三七〇號
往電第三六九號ニ關シ

本官本十二日市政府ニ俞秘書長ヲ往訪シ(吳市長ハ五全大
會出席ノ爲昨十一日夜赴寧シ不在)水兵射殺事件ノ際吳市
長ニ於テ至急犯人ノ逮捕方並ニ今後同種事件ノ發生防止方
約諾セラレタル直後再ヒ本件ノ如キ支那暴民ノ邦商襲撃事
件起レルノミナラス其ノ他ニモ日本小學校生徒力登校ノ途
中支那人ニ投石セラレタルカ如キ不祥事件續發シタルコト

テモ同様ニシテ外交部ヨリモ市政府ニ對シ慎重措置方訓令
越セル旨語レリ

尙本日午後工部局「フエツセンデン」書記長ヲ往訪シテ右
兩事件ノ如キコトカ繰返サルルニ於テハ第二ノ上海事件發
生ノ惧アル旨ヲ説明シ今後租界内ノ治安維持並ニ在留邦人
ノ保護ニ對シ充分注意セラレンコトヲ要求シ且ツ水兵射殺
事件ニ付テハ巷間右犯人カ日本人ナリトノ説ヲ爲ス者アリ
右ハ最初工部局カ支那人證人ノ言トシテ被害者、加害者ト
モニ同様ノ服裝ヲ爲シ居タリト發表シタルニ基因スルモノ
ナル處一昨十日ノ再調査ノ結果右證人ノ言ハ全然信據スル
ニ足ラサルコト判明シ又今次南京路事件ニ際シ工部局警察
(官)カ現場ニ於テ一名ノ犯人スラ逮捕スルヲ得サリシカ如
キ工部局側ノ兩事件措置振ニハ遺憾ノ點アリトテ在留邦人
間ニ不平ノ聲アル次第ヲ述ヘ工部局側ノ反省ヲ求メタル處
「フエ」ハ本官申入ノ次第ヲ一々了承シ工部(局)側ニ於テ
モ兩事件ノ犯人逮捕ニ全力ヲ盡スト共ニ今後租界内在留日
本人保護ニ對シ萬遺憾無キヲ期スヘキ旨答ヘタリ
冒頭往電ノ通り轉電、轉報セリ

ハ日本側トシテ甚タ遺憾トスル所ニシテ此ノ儘放置スルニ
於テハ日本側在留民モ遂ニハ激昂シ如何ナル事態ヲ惹起ス
ルヤモ測ラレス憂慮ニ堪エサル所ナリ最近ノ事件ハ何レモ
租界内又ハ越界路上ニ起レル事件ニシテ直接市政府警察權
ノ及ハサル地域ナリト雖事ハ日支人間ノ問題ニシテ畢竟日
支兩國間ノ問題ナレハ支那側官憲トシテ責ヲ避クヘカラサ
ル所ナリ就テハ眞ニ上海ノ平和ヲ欲スルナラハ市政府側ニ
於テモ所管各機關ニ命シ一面租界當局トモ充分聯絡シ誠意
本件犯人ノ逮捕並ニ一般民衆ノ指導取締ニ當ラレ更ニ此ノ
際進テ市政府ヨリ佈告乃至聲明書ヲ發表シ上海市民ハ國府
ノ邦交敦睦令等ノ趣旨ニ基キ日支間ノ友好關係持續ニ努メ
苟モ日本人ニ對スル暴動其ノ他一切ノ排日的不法行為ハ絕
對ニ慎ムヘキ旨嚴重諭告スルコトセラレ度キ旨申入レタ
ル處俞ハ本官申入ノ次第ヲ全部誠意了承スル旨ヲ述ヘ
早速新聞紙上ニ右趣旨ノ諭告ヲ發表スルト共ニ犯人逮捕方
ニ關シ所管公安局等ニ嚴重命令ヲ發スルハ勿論明十三日租
界當局ヲ訪問シ犯人搜查並ニ今後ノ取締等ニ付充分協議ヲ
遂クヘキ旨約セルカ尙其ノ際本官ヨリ本國政府ニ於テモ本
件ノ成行ヲ頗ル憂慮シ居ル旨告ケタル處俞ハ國民政府ニ於

208 昭和10年11月12日 広田外務大臣より
在南京須磨總領事宛(電報)

上海での日本人に対する不祥事件続発に鑑み
國民政府に対し排日風潮絶滅の徹底的な措置
を講じるよう嚴重警告方訓令

本省 11月12日發

第二二三號

最近上海ニ於ケル我水兵射殺事件、續イテ南京路日比野洋
行襲撃等不祥事件勃發シ支那側ノ對日空氣惡化ノ兆顯著ナ
ルモノアリ就テハ貴官ハ國民政府當局ニ對シ前記兩事件ニ
付テハ調査ノ上追ツテ何等申入ヲナスヘキ處此ノ種事件頻
發スルニ於テハ甚タ憂慮スヘキ事態ヲ招來スヘク此レ畢竟
支那側ノ排日取締ノ誠意不十分ナルニ依ル次第ナルヲ以テ
國民政府ニ於テハ此ノ際速カニ排日風潮ノ絶滅方徹底的措
置ヲ講スル様嚴重警告シ置カレ度

支、滿、北平、天津、青島、濟南、漢口、福州、厦門、廣
東、香港、臺灣外事課長ヘ轉電セリ

蕪湖、蘇洲^同ヘ轉報アリ度

支ヨリ上海、杭州ヘ、漢口ヨリ九江、長沙、鄭州、沙市、

宜昌、重慶へ、廣東ヨリ汕頭へ轉報アリ度

209 昭和10年11月12日 広田外務大臣より
在中国有吉大使宛(電報)

至急赴寧の上国民政府首脳に対し排日言動を
徹底的に取締るよう嚴重要求方訓令

第二九八號(至急) 本省 11月12日発

本大臣發南京宛第二一二三號ニ關シ

本件ハ最近ニ於ケル支那側排日活動ノ惡化ヲ物語ルモノニ
シテ此ノ際支那側當局ニ於テ徹底的取締ノ舉ニ出テサルニ
於テハ日支關係ヲ愈々惡化セシムルノミナラス不測ノ事態
ヲ惹起スルノ惧アリ就テハ貴大使ハ往電方^(第2)二九六號ノ次第
モアリ此ノ際速カニ赴寧セラレ貴大使ヨリモ國民政府首
腦部^(第2)ニ對シ冒頭電報ノ趣旨ニ依リ國民政府ニ於テ徹底的ニ
排日言動ヲ取締リ事端ヲ未然ニ防ク様措置方嚴重要求セラ
レ度シ

上海、蘇洲^(附)及杭州へ轉報アリ度

滿、北平、天津、青島、濟南、漢口、南京、福州、厦門、

參考トシテ廣東ヨリ香港へ轉報アリ度

支、南京、滿、臺灣外事課長へ轉電セリ

211 昭和10年11月13日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

外交部に対し排日風潮絶滅の徹底的な措置を
講じるよう嚴重警告申入れについて

南京 本省 11月13日後着

第一二五三號

貴電第二一二三號ニ關シ(排日取締方ノ件)

十三日館員ヲシテ高宗武ニ對シ(本官上海出張中)不取敢訓
令ノ趣嚴重申入レシメタル處高ハ最近上海ニ於ケル兩事件
ニ付テハ支那側ニ於テモ犯人逮捕等ニ付極力協力シ居ル次
第ナルカ排日取締ニ付テハ此ノ上トモ全力ヲ盡スヘシト言
明セル趣ナリ

支、北平、滿、在支各總領事及香港、厦門、蕪湖、台灣外
事課長へ轉電セリ

支ヨリ上海、杭州、蘇州へ、漢口ヨリ九江、長沙、鄭州、

廣東、香港、臺灣外事課長へ轉電セリ

南京ヨリ蕪湖へ、北平ヨリ張家口へ、漢口ヨリ長沙、九江、
鄭州、沙市、宜昌、重慶へ、廣東ヨリ汕頭、雲南へ轉電ア
リ度

210 昭和10年11月12日 広田外務大臣より
在中国若杉大使館參事官、在天津川越
總領事、在青島坂根總領事他宛(電報)

任地の事態に応じて中国側官憲に対し排日言
動を徹底的に取締るよう要求方訓令

本省 11月12日発

合第八四四號

本大臣發在支大使宛第二九八號ニ關シ

貴地事態ノ必要ニ應シ冒頭往電ノ要求ト呼應シ貴地方官憲
ニ對シテモ排日言動徹底的取締方要求シ置カレ度

本電宛先 北平 天津 青島 濟南 漢口 福州 厦門

廣東 杭州 蘇洲^(附) 蕪湖

訓令トシテ漢口ヨリ九江 長沙 鄭州 沙市 宜昌 重慶
へ、北平ヨリ張家口へ、廣東ヨリ汕頭、雲南へ轉電アリ度

沙市、宜昌、重慶へ、廣東ヨリ汕頭へ轉報アリタシ

212 昭和10年11月14日 在上海石射總領事より
広田外務大臣宛(電報)

日本人水兵射殺事件の犯人捜査難航について

上海 本省 11月14日後着

第三七二號

陸戰隊兵士射殺事件ノ犯人及其ノ背後關係ノ有無ニ付テハ
市政府及工部局ヲ督勵シツツ陸戰隊及當館ニ於テ極力事實
發見ニ努力中ナルモ未タ何等「デサイシヴ」ナル手掛ナク
漸ク迷宮人ノ形ナリ

(一)同僚間乃至居留民トノ私怨説アル處(此ノ説ハ現場ヲ警
見セリト稱スル支那人カ被害者共ニ同様ノ服裝ナリシ
トノ供述カ英字紙ニ出テタル爲支那新聞ニ傳ヘラレタル
モ十日夜同時刻ニ證人ヲ現場ニ引出シテ再檢證ヲ爲シタ
ル結果服裝ノ異同等ハ判別シ得サリシコト立證セラル)
陸戰隊當局ハ殺人ニ至ル迄ノ私怨ナラハ今迄ノ間ニ表面
化シ居ル(筈ナル)ニ嘗テ其ノ事ナク本人ノ素行ヨリ見テ

状況について

私怨ナシト確言シ居リ
(二)不逞鮮人ナラハ官民ノ大者ナラハ兎毛角一水兵ヲ狙フヘ
シトハ思ハレス從テ

(三)過日來支那共產黨分子カ流布シ居タル開北戦争ノ謠言ヲ
裏書スル目的ニ出テタルカ又ハ

(四)汪精衛遭難事件以來擡頭ノ徵アル排日派ノ工作ノ一ニア
ラスヤト歸納的二考ヘラルル次第ナルカ之トモ目下ノ
所單ナル見込ニ過キスシテ犯人ハ支那人ナリト斷定シテ
支那側ヘ尻ヲ持込ム丈ケノ積極的材料ナシ
尙日比野洋行襲撃ハ其ノ遺留シタル傳單ヨリ見テ共產分子
ノ仕業ナルヘシト推定セラルルモ之ト水兵射殺トノ間ニ關
聯アリヤ否ヤモ目下ノ所不明ナリ其ノ他諸説紛々タルモ何
レモ想像説ナリ右不取敢
支ヘ轉報シ在支各總領事、北平、厦門ヘ轉電セリ

213 昭和10年11月14日 在上海石射總領事より
広田外務大臣宛(電報)

日本人水兵射殺事件および邦人商店襲撃事件
に対する市政府側の捜査および排日言動取締

第三七四號
往電第三七二號ニ關シ
本省 11月14日後着

市政府側ニ於テハ一昨十二日愈秘書長、工部局「フエツセ
ンデン」ヲ往訪シ兩事件犯人ノ逮捕並ニ租界内ニ於ケル不
穩分子ノ取締ニ關シ有效ナル措置攻究方ヲ申入ルルト共ニ
十三日附ヲ以テ公安、社會兩局ニ對シ不穩分子及謠言撒布
者ノ逮捕處罰方ヲ言明シ此ノ旨漢字新聞紙上ニ發表シ公安
局ヲシテ支那街ニ於ケル舉動不審ノ通行人ヲ誰何訊問シ其
ノ家宅搜查ヲ行ヒ又支那街居住日本人ニ特ニ保護ヲ加ヘ排
日「ビラ」及日本人ノ感情ヲ刺戟スルカ如キコトヲ極力取
締リツツアル旨言明シ更ニ愈秘書長ヨリ當館ニ對シ情報ノ
交換及聯絡方ヲ申出テ居リ一方租界當局モ亦引續キ犯人ノ
搜查ニ努メ居ルモノノ如キモ兩事件犯人ニ關シ未タ何等ノ
端緒ヲモ摑ミ得サル狀態ナルヲ以テ犯人及其ノ背後關係等
ニ關スル謠言蜚語依然盛ニシテ獨リ支那人ノミナラス在留
邦人中ニモ不安ヲ感シ居ルモノ鮮カラス又租界當局及支那

側ノ犯人檢舉措置ノ手緩キヲ憤慨シ非難攻撃ノ聲高マリ居
レリ(各路聯合會代表ハ十三日工部局「アーノルド」ニ對
シ租界内ニ於ケル不安狀態除去ノ爲速ニ有效ナル措置攻究
方ノ要望ヲ爲セリ)本官ハ昨十三日新聞紙上ニ於テ談話ノ
形式ヲ以テ兩事件今日迄ノ交渉經過等ヲ發表シ且ツ在留民
ノ輕舉ヲ戒メ置キタルカ一方陸戰隊、陸海軍武官室、大使
館、憲兵隊等ト聯絡シテ新聞指導等ニ當リ居レリ

214 昭和10年11月15日 在上海石射總領事より
広田外務大臣宛(電報)

日中開戦説等の流言蜚語が瀰漫し上海市中不
安感増大の状況について

上海 11月15日後着
本省

第三七五號
往電第三七四號ニ關シ

其ノ後工部局及市政府ハ水兵事件ニ付夫々一千元ノ懸賞ヲ
懸ケ犯人ノ逮捕ニ努メ居ル處今日迄ノ處依然何等ノ手懸ナ
ク日支間開戦説等ノ謠言蜚語ハ支那側ノ取締ニモ拘ラス

(公安局ハ昨十四日謠言ヲ放ツ者ノ嫌疑者五名ヲ逮捕シ警
備司令部ニ送りタル旨發表シ居レリ)愈盛トナリ北部支那
街越界路方面居住支那人ノ租界内ニ移動スル者益々増加ノ
傾向アリ支那側民衆ハ一般ニ頗ル不安ニ驅ラレ居ル模様ナ
リ

215 昭和10年11月16日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

上海方面の流言蜚語を打消す何応欽軍政部長
の談話発表もあり市中の不安感一掃との新聞
報道について

上海 11月16日後発
本省 11月16日後着

第九六二號
上海發閣下宛電報第三七五號ニ關シ

十六日各漢字紙ハ南京中央社電トシテ上海方面謠言ヲ打消
ス何應欽ノ談話ヲ掲載シ居リ申報ハ論說ヲ掲ケ此ノ當局者
ノ適切ナル表示ニ依リ暗澹タル空氣一掃サルヘシト述ヘ時
事新報ハ十五日夜以來陸戰隊カ市中警備ヲ緩ニセル事時ニ

第九六七號(極秘)

往電第九五四號ニ關シ(中山兵曹射殺事件)

陸戰隊側ノ要求原案ハ將來ニ對スル保障ヲ主トシテ支那側ニ對シ

(一)犯人ノ逮捕

(二)排日行爲ノ取締

(三)黨部及排日機關ノ上海及附近ヨリノ撤退

(四)陸戰隊武裝兵ノ共同租界外特定區域(大體ニ於テ越界路ニ對スル我方最初ノ提案ニアル虹口「クリーク」八字橋及夫レヨリ以東ノ線以內ノ三角地帶ヲ豫定シ居ル由)ニ立入ノ自由(大體租界內ニ於ケルト同様ノ行動ヲ爲ス意嚮ノ由)

ヲ要求シ工部局側ニ對シテハ右(一)及(二)ノ外參事會議長ノ陳謝及工部局警察制度組織ノ改善ヲ要求スルモノニシテ右要求ノ急速貫徹ノ爲ニハ已ムヲ得サレハ實力ニ訴フルノ決意ナルモ其ノ場合ニ於テハ局部的且ツ短時日內ニ收拾シ得ル

216 昭和10年11月18日 在中国有吉大使より 広田外務大臣宛(電報)

日本人水兵射殺事件解決のための中国側およ

言及シ數日來緊張ノ空氣及恐怖ノ暗影一掃セラレタリト論シタルカ同日ノ晨報モ往電第九四七號トハ打ツテ變リ甚タ穩健ナル調子ヲ以テ事變以來圓滿ヲ缺ク日支關係ナレハ嘘ヨリ眞ヲ生ム惧アル故謠言ヲ慎ムヘキコトヲ述ヘ日本側ニ對シテハ先ツ其ノ懷疑心ヲ去リ全キ信任ヲ以テ之ニ代ヘ同時ニ平等友好ノ誠意ヲ以テ支那ニ對サレ度シト希望シ支那國民ニ對シテハ事實ヲ認識シ無責任ナル過激論ヲ唱フルコト無ク外交方針ハ假令利ナクトモ害少キ方法ヲ執ルヘシト言ヒ又滿洲事變ノ際モ感情ニ支配セラレス直接交渉ヲ爲シ居レハ或ハ失フ所今日ヨリ少カリシヤモ知レストカ外國ノ援助ハ期待シ得ヘキモノニアラス却テ隣人ノ猜疑ヲ増スノミナリトカ從來ノ對日外交ノ能ク成果ヲ收メ得サリシハ内部ノ不統一ニ依ルモノナリトカ述ヘ最後ニ五全大會ニ對シ事實ヲ認識シ速ニ外交方針ヲ確定セラレ度シト論シ居レリ北平、天津、南京、廣東ヘ轉電シ上海ヘ轉報セリ

ヲ目的トシ全面的擴大ヲ極力避クルニ努ムル方針ノ趣ナルカ右ニ對シ十四日打合會議ニ於テ(荒木司令官、海軍關係幕僚及堀内、杉原等出席)我方ヨリ大體左記ノ趣旨ノ意嚮ヲ述ヘシメ置キタリ

(一)本件要求達成ノ爲實力ヲ行使スル場合ニハ杭州、嘉興、湖州、蘇州、鎮江ノ線ニハ教師十一萬ノ支那兵集結シ

(十一月二十日ヨリ防空演習ノ豫定)居ル事實ニ鑑ミ我方トシテモ充分準備ヲ要スル外特ニ條項(三)ニ付テハ租界內實力行使ノ點ヲモ考量ノ要アルコト

ニ、支那側ニ對スル要求(三)ハ

(イ)上海カ黨部ノ心臓ナル關係上交渉ニ依リ之ヲ認メシムルハ不可能(南京側責任者ハ之ヲ認ムルヨリハ引責辭職スル可能性大ナリ)ニシテ之カ貫徹ノ爲ニハ租界內外ニ實力行使ヲ必要トスヘク

(ロ)而モ犯人支那人ナリトノ推定ハ根據薄弱ナルニ加ヘ

支那人中黨部カ背景ヲ爲スコトニ付テハ何等ノ證據無キ(此ノ點新生事件ノ場合ト異ル)ニ拘ラス實(力)行使ヲ賭シテ之ヲ要求スルハ新生事件ノ解決ニ比シ頗ル均衡ヲ失ス

(ハ)之ニ加フルニ實力ニ依リ形式上之ヲ撤退セシムルモ是

等ノ潛行的策動ヲ排除スルコトハ共同租界ノ存在及北支ニ於ケルカ如ク我方ニ於テ支那側各機關ヲ控制シ得サルコト等ニ依リ不可能ナルヘク

結局右ニ依リ排日ノ終熄乃至親善關係ノ増進ノ如キ目的ヲ達シ得サル等ノ理由ニ依リ此ノ際ハ之ヲ出ササルヲ可トシ黨部ノ撤退ハ是等ノ排日ノ根據ヲ抑ヘタル後新生事件解決ノ際ノ言質等ニ依リ之ヲ實現スル方得策ト認ム

(四)條項(四)ニ付テハ何人カ見テモ尤モナル理由カ着クナラハ可ナルモ支那側カ聽カサル場合自由行動ヲ執レハ停戰協定ヲ我方自ラ破ルコトニナル惧アルニ付此ノ點更ニ攻究スルヲ要シ又自由行動ヲ執リタル場合支那側ハ第三國共同委員ニ訴ヘ出テ事態紛糾スル惧アリ併セテ慎重考量ヲ要ス

四、工部局ニ對スル要求(三)ヲ提出スル場合ニハ陸戰隊自身ニ於テモ自己ノ存在防護ニ付充分ノ職責ヲ盡ササリシトノ外人側ノ議論ヲ起ス惧モアリ面白カラス旁先方捜査ノ不誠意ト怠慢ヲ事例ヲ擧ケテ責メ先方ヨリ自發的ニ遺憾ノ意ヲ表スル様仕向クルカ如キ程度ニ止ムルヲ可トスヘク

同(四)ハ改善ノ具體案ヲ提出セス單ニ改善ニ關スル當局者ノ言質(又ハ意嚮表明)ヲ取付ケ之ニ依リ日比野洋行事件等ヲ利用シ其ノ後ノ交渉ニ依リ改善ヲ實行セシムルコト然ルヘシ

五、海軍側トシテハ右當方ノ意見ハ相當考量ニ入ルヘキ旨ヲ述ヘ居タルモ之ニ同意スルニ至ラス右當方ノ意見ハ當方ヨリ中央ニ電報スヘキ旨打合セタル趣ナルカ冒頭往電三ノ事情ニテ一時之ヲ見合セ居タルモノナリ

六、尙本件ニ關シテハ十三日杉坂、荒木兩司令官本使ヲ來訪シ目下支那側ニ對スル要求提出方ニ付考量中ニシテ右要求ハ排日ノ終熄乃至兩國親善關係ノ増進ヲ目標トスルモノナリト述ヘタルニ付本使ヨリ上海黨部ノ撤退問題及本件要求提出ノ時期等ニ付前記三及(四)ノ事項ヲ説明シ置キタル次第アリ尙前記打合會ノ節海軍側ハ本件要求ニ付テハ外務側ニ於テ交渉ノ衝ニ當ルヘク唯事海軍ニ關スルヲ以テ必要ニ應シ海軍側係官隨伴シテ右説明ヲ爲スコトトシ度キ旨ヲ述ヘ居タル趣ナリ又前記海軍側要求案ニ付テハ陸軍武官側モ十四日午前ノ陸海軍係官打合會ニ於テ全部賛成セル由ナリ(本電總領事ト打合濟)

ノ意嚮ナリシカ本官ハ(四)ノ如キ要求ノ尤モナリトスル理由ハ到底立チ難キノミナラス先ツ掛値ヲシテ後ニ讓歩スル如キハ我方ノ肚ヲ讀マルルノミニテ面白カラス又(イ)、(ロ)トモ犯人カ支那人ナルノ確證無キ今日水兵事件ノ解決條件トシテ要求シ得ヘキ筋合ニアラサルモ掛引上右事件ニモ引懸ケタル上客年三月交換公文ヨリ停戰協定ニ我方カ例外ヲ認メタル例ニ倣ヒ一個ノ獨立シタル問題トシテ(イ)、(ロ)丈ケノ要求ヲ爲スナラハ理由ハ立ツヘシトノ意見ヲ述ヘ陸戰隊側モ之ヲ了承セリ就テハ最近ノ機會ニ吳市長ニ向ツテ右(イ)、(ロ)ノ交渉ヲ開始スルモ可ナリト思考スル處北方ノ時局ヨリ見テ時期差支無キヤ何分ノ御回示ヲ請フ(大使館トシテハ大體北方時局ノ見透シ着キタル上ニテ會談スルコト然ルヘシトノ意見ナリ)尙(イ)、(ロ)ノ細目ハ當方ニ於テ交渉ノ過程中ニ適當ニ伸縮セシムヘシ尙又本件ハ支那側相手故短兵急ニハ行カス根氣ヲ要スヘキニ付豫メ御含置ヲ請フ
工部局警察ニ付テハ當地日本人社會トシテモ種々註文シ度キコトアリ之カ改善ハ篤ト案ヲ練リタル上追テ何分ノ措置ヲ執ルコトト致度シ

北平、天津、南京へ轉電シ支へ轉報セリ

北平、天津、南京へ轉電シ上海へ轉報セリ

217 昭和10年12月(9)日 在上海石射總領事より 広田外務大臣宛(電報)

日本人水兵射殺事件解決のための我が方要求事項確定につき交渉開始時期回示方請訓

上海 本省 12月9日夜着

第三九八號(極秘)

有吉大使宛貴電第三二五號ニ關シ(上海水兵射殺事件)

當地海軍側ト協議シタルカ對支那側交渉ハ右貴電ノ御趣旨ニ基キ支發往電第九六七號ノ(三)ハ之ヲ見合ハスコトトセリ(四)ニ付テハ當地陸戰隊トシテハ

(イ)日本人墓地内海軍忠魂碑ヘノ武裝參拜

(ロ)豫テ寶山玻璃廠角田芳太郎ノ名ニ於テ購入シ置キタル同玻璃廠接續ノ海軍用地ニ於テ陸戰隊兵士ノ武裝演習力出來ル様ニナレハ可ナリ

トノ肚ニテ此ノ目的ヲ達スル方便トシテ先ツ右(四)ノ如キ廣汎ナル要求ヲ爲シ次第二(イ)、(ロ)迄妥協スルコトトシ度シト

218 昭和10年12月27日 広田外務大臣より 在上海石射總領事宛(電報)

日本人水兵射殺事件解決交渉の開始時期等につき回訓

本省 12月27日発

第二四〇號

貴電第三九八號ニ關シ

一、貴電(イ)(ロ)ニ關スル交渉ハ今暫ク時期ヲ見ルコトト致度ニ、尤モ最近ノ學生運動及唐有壬暗殺事件等上海附近ニ於ケル不安狀況ニモ顧ミ此ノ際(一)犯人ノ逮捕(二)排日行爲ノ取締ニ關シ其ノ後支那側ニ於テ執レル措置ヲ嚴重追求スルト共ニ前記不安狀態ニ付テモ先方ノ深甚ナル注意ヲ喚起スルコト事宜ニ適スルモノト認メラル仍テ改メテ吳鐵城ニ對シ右趣旨ヲ申入レラレ其ノ間支那側ノ態度從來ノ如ク煮切ラサルニ於テハ最近ノ不安狀態ニモ鑑ミ我方トシテハ相當決意ノ要アルヘキ旨ニ、ホハセツツ相當強硬ニ談シ付ケラレ結果回答アリ度